



平成 24 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
(J A S D A Q ・ コード番号 2694)
問合せ先 執行役員管理本部長 岩崎 友也
(TEL. 022 - 762 - 8540)

平成 24 年 3 月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 11 月 11 日付当社「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,414	706	659	374	5.55
今回発表予想 (B)	16,727	953	905	381	5.56
増 減 額 (B-A)	313	246	246	6	—
増 減 率 (%)	1.9	34.8	37.4	1.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	17,693	38	△75	△2,700	△44.75

※第 1 四半期会計期間より、営業外収入に計上しておりました専売契約料収入及び不動産賃貸料収入を売上高に、営業外費用に計上しておりました不動産賃貸原価を売上原価に計上する方法に表示方法を変更いたしましたので、前期実績数値を遡及処理しております。

2. 修正理由

当第 3 四半期累計期間におけるわが国の経済環境は、引き続き東日本大震災や福島第 1 原子力発電所事故の影響及び、欧州各国の金融不安等を背景とした海外景気の減速に加え、長期化する円高など、依然として先行きが懸念される不透明な状況下にあります。

このような状況のもと、当社では、収益力改善のため引き続き不採算店舗(寿司事業 4 店舗、居酒屋等事業 22 店舗)の撤退を進めながらも、新たなフランチャイズ店舗の出店等を積極的に行い、クリスマス・忘年会シーズンの年末需要の取込を早期の段階より計画的に行ってまいりました。当初、東日本大震災の影響をうけ来店客数の落ち込みによる売上高の減少等、厳しい経営環境を予想しておりましたが、東北地区を中心とし、全国各店舗におきまして震災からの復旧・復興を後押しする

べく多くのお客様にご来店を頂き、物流の混乱や計画停電の影響も想定を下回ったことから業績は順調に推移いたしました。

以上の結果、震災からの復旧・復興の後押しもあり、平成 24 年 3 月期通期の売上高は 16,727 百万円（前回予想比：313 百万円の増加）、営業利益は 953 百万円（前回予想比：246 百万円の増加）、経常利益は 905 百万円（前回予想比：246 百万円の増加）、当期純利益は 381 百万円（前回予想比：6 百万円の増加）と前回発表を上回る見通しとなりましたので修正いたします。

3. 特別損失の計上

当事業年度においては、長期的な景況感の低迷の影響、競争が激化したことなど原因で店舗の収益性が悪化いたしました結果、不採算店舗の閉店に伴う店舗閉鎖損失、店舗閉鎖損失引当金繰入額、関係会社出資金評価損、減損損失、災害による損失及び固定資産除却損を計上しております。

以上の事由から当第 3 四半期累計期間において特別損失として 184 百万円計上いたしましたので、内訳をお知らせいたします。

①店舗閉鎖損失	92 百万円	※1
②店舗閉鎖損失引当金繰入額	56 百万円	※2
③関係会社出資金評価損	20 百万円	
④減損損失	12 百万円	※3
⑤災害による損失	1 百万円	
⑥固定資産除却損	1 百万円	※4

※1. 平成 23 年 11 月 11 日「特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに 84 百万円増加しております。

※2. 平成 23 年 11 月 11 日「特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

※3. 平成 23 年 11 月 11 日「特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに 11 百万円増加しております。

※4. 平成 23 年 11 月 11 日「特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

以 上